

研究課題名	女性が朝食を食べないこと（ライフスタイル）が生殖能に及ぼす影響
研究の意義・目的	夜でも明るく、いつでも食事をとることが出来る 24 時間社会となった現代は大変便利である一方で、様々な病気のリスクが高まっています。ヒトの生体リズムは脳に存在する中枢時計により調節されています。この中枢時計は光により制御されています。一方で、内臓や筋肉などの時計は光ではなく、絶食-摂食サイクルによって駆動されるインスリン/IGF1 に大きな影響を受けます。そのため、摂食時間の変更により中枢時計との同期が乱れることがあります。実際に朝食を抜くことで、様々な成人病のリスクが上昇することが知られています。マウスを用いた研究で朝食抜きにより、不妊症になるリスクが上昇する可能性が示されています。本研究では朝食の有無と生理との相関を調べることにより、朝食抜きがヒトにおいても不妊症のリスク因子の一つであるかどうかを調べます。急激な高齢化並びに人口の減少のなか、少子化対策が緊縛の政治課題となっている本邦において、重要な研究課題です。初診時の問診記録を個人が特定できないように加工して、大阪公立大学大学院医学研究科リプロダクティブサイエンスに提供し、データを解析します。ハードディスクにデータを入れて、輸送します。大阪公立大学では朝食摂取の有無が生殖能力に及ぼす影響を解析します。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2029 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2019 年 4 月~2024 年 3 月に医療法人三慧会へ、不妊治療のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：不妊原因、生理不順のタイプ、月経周期、生理の有無、年齢、性別、BMI、既往歴、検査データ
試料・情報の 提供を行う機関の名称 及びその長の氏名 (提供元について)	機関名：医療法人三慧会 機関の長の氏名：理事長 森本 義晴
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	研究代表者：大阪公立大学大学院医学研究科 リプロダクティブサイエンス研究所 寄附講座 橋本 周

<p>試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称</p>	<p>以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。</p> <p>【研究代表者】 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 リプロダクティブサイエンス 研究所寄附講座 橋本 周</p> <p>【共同研究機関・研究責任者】 医療法人三慧会 IVF なんばクリニック 中岡義晴 研究グループ公式ホームページ(https://www.ivfnamba.com/)</p>
<p>本研究の 利益相反</p>	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>研究に協力を したくない場合</p>	<p>診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p>
<p>連絡先</p>	<p>公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 リプロダクティブサイエンス 研究所寄附講座 担当者氏名：橋本 周 電話番号：(06) 6645-2121 (内線 2634)</p>